

町長 この問題、国が進めているが、時間が5年後10年後ではちよつと難しいと。かなり早い時期の目標達成が必要になってくる。大きいことだが目標として上げた。目前の対策としては、森林組合対策かなと思つている。

●高齢者対策として、バスの無料化は

町長 バスは、スクールバスと一般のバスで混乗化を実現した。無料化した場合の、国庫補助、交付金の給付に支障がないか。

答 それも考えている。詳しいことは副町長から。

副町長 町営バスの無料化に関して、現在は混乗と言うことで、費用をいただいている。昨年度ベースの収入で、212万6000円の利用料金収入をいただき、県からは、

182万円の補助金をいただいている。混乗化と言うことで、完全無償ではないので、合わせて国の方から1440万円の特別交付税を受けている。全員を完全に無料化とすると、この特別交付税がなくなる。その点については、慎重にどういった方法が良いのか精査していく必要があるかと思う。

議員 私も町営バスの無料化が図れば、大変結構ですけど、逆に今副町長が答弁したように、町の一般財源から持ち出しが1500万円増え、町の負担になると、バス事業だけでなく、他の福祉施策、子育て施策に支障が出ないかどうか、町営バスの無料化といえば、町民もそれなりの期待をされていますし、実際は町民に対しても、国の交付金が切られる可能性があり、他事業で我慢してもらおう施策が出るわ

けですから、その辺は町長としては、バスだけ特化しての話になり、この辺は慎重にやつていただきたい。町長 これからの検討だと思つている。

議員 バス以外にタクシー券については、どれくらい拡充するか、具体的なプランはあるか。町長 これからの検討だと思つている。

●保育料の軽減について

議員 子育て世代の対策として、保育料の軽減は第一子か。町長 第一子を考えている。

議員 学校給食の減額はどのようなものか。町長 具体的ではなく、子育て世代に対してなんとか応援をしてやる

のが町の立場かなと言うことで、私の目標として掲げさせていただいた。もちろん、軽減、それなりに減額という目標で、進みたいと思つている。これから具体策は検討していきたい。

●道の駅大改修について

議員 ハード事業だけでなく、ソフト事業にどうつなげていくか。町長 大きく3つの柱を持ち、再整備を進める。第一は、町の総合情報発信拠点としての機能強化。

第二は、町民が生涯活躍できる社会の実現に向けた農産の集出荷や、買い物支援、子育てサポートなどの地域福祉支援の拠点。第三は、下仁田ネギを中心とした農産物の直売機能の充実、地産外商による販路拡大それに伴う、売り上げを年中、所得が得られる

ような農業振興支援とする。

●自治体間連携について

議員 連携市町村に対しての対応について、具体的には。町長 今後の課題ですから、後ほど説明したい。

議員 日本ジオパーク委員会あるいは、風穴サミット色々町民の間では、それぞれ交流が進められているが、他の自治体との交流は。町長 今考えている。前向きに進んでいけると思つている。

